

● 町民の広場

この頃 思うこと

菱田公民分館 女性部長

佐藤 リツ子



今年の運試しに、おみくじを引いてみる。「吉」まあいいかと思う。すでに大吉を引いた主人がにっこり。「吉ぐらいがいいのに」と、ちよびり負け惜しみを言ってみる。おかめのお守りが入っていた。下ぶくれのにこやかな顔、じつと見ていると思わず、にっこりと笑っている私。笑う門には福来たる」と古くから福の神として信仰を集めているとの事。大切に財布にしまった。

最近、健康で長生きの秘訣は明るく声を出して笑う事だと言われます。笑顔は自分が幸せになるだけでなく、周りの人も温かく包んでくれるし、病気の予防や治癒にもつながると思います。テレビなどで拝見する長寿の方々は、笑顔が素敵

だし、前向きに生きていく方が多いのではないかと思います。私達夫婦はグラウンドゴルフを楽しんでいます。いつでも、どこでも、だれもが楽しめるスポーツです。真夏の太陽が照りつける日も真冬の冷たい風の吹く中でもプレーします。今では県外県内の色々な試合に参加し、たくさんの仲間、友達もできました。試合のたびに元気をもらって帰ります。プレーの後のお茶がおいしい事。グラウンドゴルフを通して新たな出会いがあり、人の輪が広がっていき、健康でグラウンドゴルフの出来る幸福を感じています。夢中になれるもの、趣味でも何でもよいと思います。自分にとって楽しみのあるものを見つけることが生涯健康で過ごせるような気がします。

毎年恒例の女性部のミニバレーボール大会も、ママさんバレーの協力で手に汗握る熱戦が繰り広げられました。また、分館運動会があいにくの雨の中決行されましたが、雨の止む間での競技もあふれるパワーで盛り上がり、私達女性部もマステームで花を添えました。敬老祭の接待では手作り弁当で地域の高齢者の方に喜ばれています。赤飯や煮しめ、煮豆など各集落の役員・ボランティアの協力のもと得意料理が毎年作られています。今、世間では暗いニュースが毎日のように流れています。人に対して思いやりのある心を持てる環境づくりが必要ではないかと思えます。

表紙写真説明

毎年、初日の出にたくさんの人で賑わう益丸海岸。大崎空手会(会員60名)では恒例の稽古始めを今年も行いました。稽古着に裸足で海岸をジョギングし、突き、蹴り、型の一連の練習をした後、海岸に向かって今年一年の誓いをたてました。稽古終了後は、焚き火にあたりながら保護者の作ったぜんざいや豚汁を食べて体を温めました。



編集後記

二〇〇五年を振り返ると国内外でさまざまな出来事がありました。自然災害が猛威を振るい、社会を震撼させる事件・事故が続きました。JR脱線事故、アスベスト被害、耐震強度偽装問題、連続でおきた小学生女児殺害など数えたらきりがありませんが、暗い出来事の多い一年でした。

また、県内では市町村合併が相次ぐ年となり、今年の3月までには96あった市町村数は49と半減します。自治体を取巻く環境は厳しく、国の三位一体の改革の進展で国から地方に流れる金が少なくなるのは避けがたいものがあります。我が大崎町も厳しい財政状況にあり、課の再編補助金・旅費などの適正化をはかり徹底した行財政改革に取り組んでいくところであります。

議会、だよりでは、町民のみならず、に議会活動のみならず、町政の取り組み、財政状況などわかりやすくお伝えしたいと思えます。

第98号「おおさき議会だより」をお届けします。ご意見、ご感想などお聞かせください。

広報編集委員一同